

「奇跡」とは一般的に、人間の知識や理性では説明できないような出来事を指します。聖書には数多くの「奇跡」が出てきますが、それらは神的な力によって引き起こされていると考えられます。

例えば旧約聖書の中に出て来る奇跡で最も印象深いものといえば、「葦の海の奇跡」ではないでしょうか。映画「十戒」にも描かれていますが、エジプトを脱出したイスラエルの民が、大きな海の前でエジプトの兵士に追い詰められた時に、モーセが杖を高く上げると海が二つに分かれたという奇跡です。そのおかげでイスラエルの民は危機的状況から逃れることができました。詳しくは「出エジプト記 12章」をご覧ください。

この「葦の海の奇跡」をみても、聖書に描かれている他の奇跡をみても、大切なのは不思議な現象そのものではなく、背後にある神さまの力です。

それはイエス様の奇跡によっても示されています。イエス様は病気の治癒や悪霊追放などのいやしの奇跡や、5000人の供食や湖上歩行、また嵐を静めた場面などの自然現象に対する奇跡をおこなわれました。しかし、その奇跡を見ることによって信じさせるのではなく、その奇跡によって神さまの支配が到来したことを示したのです。

したがって、奇跡を目の当たりにした人たちは、イエス様を通して働かされている神さまの力を感じ、神さまを賛美します。奇跡の行為者は、神さまなのです。

さらに、イエス様の奇跡と信仰とは深く関わりをもって描かれています。「信じます」という強い思いが、神さまの救いをもたらせるのです。

次回は「義認」です。楽しみに。



「パンと魚の奇跡」

ジェームズ・ティソ(1836~1902年)

それからイエスは、数多くの奇跡の行われた町々が悔い改めなかったので、叱り始められた。

(マタイによる福音書 11章 20節)

